

令和4年5月28日

子どものマスク着用について

瀬戸市教育委員会

気温が高くなり熱中症が心配される季節となりました。子どものマスク着用については、これまでも気温・湿度や暑さ指数（WBGT）が高い時には、屋外で人と十分な距離を確保できる場合であればマスクを外すように指導しております。今週になって文部科学省より夏季を迎えるに当たり、学校生活における児童生徒等のマスクの着用について改めて留意する点が通知されましたので、お知らせいたします。なお今回の内容は、これまでの取扱いを変更するものではありません。

- 十分な身体的距離が確保できる場合は、マスクの着用は必要ありません。
- 気温・湿度や暑さ指数（WBGT）が高く、熱中症のおそれがある日には、マスクを外してかまいません。
- 体育の授業においては、基本的にマスクの着用は必要ありません。

学校ではこれに基づいて指導をしていますが、小学校低学年児童は、自分でマスクを外してよいかどうか判断が難しいこともあろうかと思います。保護者の皆様からも、

「暑くなったらマスクをはずしていいからね。でもお友だちとは離れて、おしゃべりはしないようにするんだよ」

と声をかけていただければと思います。



裏面に厚生労働省・文部科学書による資料も掲載しますので、参考にさせていただくとともに、今後も引き続き感染対策に取り組んでいただきますよう、お願いいたします。